

広報 たかのす

平成3年

3月15日

№.692

発行日 毎月1日・15日

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

〒018-33

秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

TEL 0186(62)1111

FAX 0186(63)2586



「ウワー！ かまぐらの権五郎ー!!」

葛黒に伝わる小正月行事「火祭るかまぐら」が2月28日に行われ、無病息災、無火災などを祈願しました。火の神不動尊をまつるもので、火をつけてあるいた伝説の人物「権五郎」を慰さめる行事でもあります。天をこがす炎に、「ウワー！かまぐらの権五郎」となごもも叫ぶ子供たちの声が、春を待つ村々にこだましていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

2月28日現在	(前月比)
総人口 23,984人	(1人増)
男 11,666人	(7人増)
女 12,318人	(6人減)
(出生 10人 転入 29人)	
(死亡 16人 転出 22人)	
世帯数 7,329世帯(3世帯減)	

鷹巣町総合
 発展計画
 画

後期基本計画

平成3年度
 ↓
 平成7年度

四月より
 スタート

町民が行政に何を望み、将来のわが町をどう発展させるべきかなどを盛り込み、来たる二十一世紀を見据えた活力あるまちづくりと町民福祉の向上を基本に、昭和六十一年に向こう十年間の長期計画「鷹巣町総合発展計画（基本構想・前期基本計画）」を策定し、町の総合的發展に全力を注いできました。

平成二年度をもって前期五カ年基本計画が終了するのを受け、四月より新たな施策を網らした後期基本計画がスタートします。この計画は、平成三年度から七年度までの中期計画で、総合発展計画に示された町の将来像「心豊かで明るく住みよいまち」の実現に向かって、計画的な行政運営の方向を示すものです。

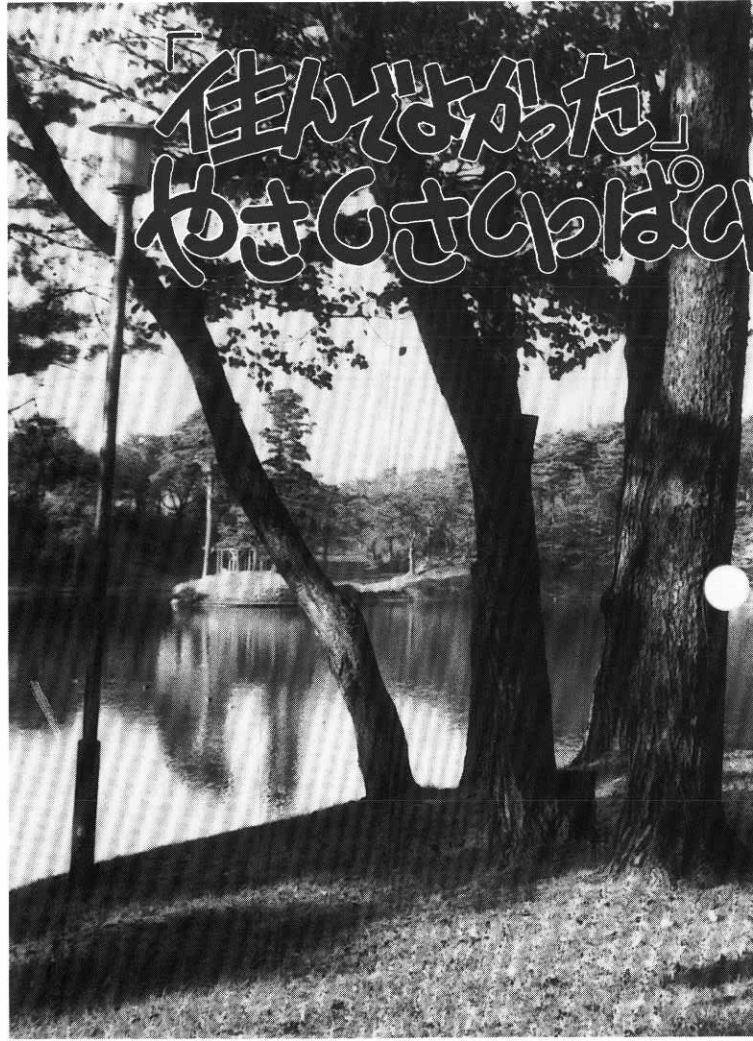


「住んでいたい」
 の町たがのす

十一項目の重点施策

- 交通過疎からの脱却と産業の振興をはかるうえから、大館能代空港の建設を促進します
- 高齢化社会に対応した老人保健施設の整備をはかります
- 産地間競争に対応できる農業基盤の確立をはかります
- 快適な生活環境創出のため、公共下水道の推進をはかります
- 消費者ニーズに応える大型店の出店を助長します
- 若者の雇用の場を確保するため、男子型企業の誘致を推進します
- 東小学校、鷹巣中学校の改築を促進し、教育環境の整備をはかります
- 「たかのす風土館」「大太鼓の館」を核とした、地域文化の育成をはかります
- スポーツ・レクリエーションゾーンとして鷹巣中央公園の整備、拡充を推進します
- 明日の鷹巣を担う優れた人材の育成、確保を推進します
- 町有林等の育成管理を徹底させ、町基本財産の造成と地域林業の振興をはかります

「佳んはかた」 やさしさいっぱい



たくましく柔軟な 産業のまちづくり

■農林水産業の振興

▽「農地」の効率的な活用と、生産の安定的拡大をはかるうえで、農地の流動化が必要であり、意欲ある中核農家と農業後継者の育成を促進します。

▽生産基盤の整備には、受益者負担がともなう場合が多いものの、将来を見据えた投資

であり、土地改良区などの機関と連携し有利な補助制度等を活用し整備を推進します。

▽大館能代空港実現によるフライト農業に対する取り組みは、本町にとって新たな活路となり積極的に推進します。

▽林業については、森林の持つ公益的機能と調和をはかりながら撫育につとめ、良質材

生産を積極的に進めるとともに、各種制度の導入により林道、作業道等の整備につとめます。また、国産材時代の到来に備え、林業の担い手の養成、確保や林業団体組織の育成強化につとめます。

▽内水面漁業は、養殖や稚魚放流による資源の拡大と漁場の確保につとめ、観光漁業を推進します。

■商工業の活性化

▽鷹巣阿仁地域の中心地という特性を活かし、消費者ニ



若い人に魅力ある農業をめざす

ズに対応するため商業者組織の促進をはかるとともに、商工会の指導体制を強化し魅力ある商店街づくりと駐車場等の整備につとめます。

▽工業の振興は、地域の経済力を高め若者の地元定着を促進するうえからも重要であり、既存企業の体質改善をはかり地域に貢献度の高い企業の誘致を積極的に推進し、産業基盤の充実強化と工業の近代化につとめます。

▽大館能代空港の実現を踏まえ、臨空港型工業団地の検討を進めるほか、航空利用による高付加価値型工業の推進を

はかります。

▽雇用対策については、魅力ある労働環境の整備により若者の地元定着と中高年者の雇用の場の確保につとめ出稼ぎ対策として、高齢化の進行にともない職安及び企業と連携のうえ就労の安全をはかります。

■観光産業の開発

▽大太鼓の館を中心に観光拠点として受け入れ体制の整備につとめ、大太鼓の里づくりを強力に推進するとともに特産品、みやげ品の開発を促進します。

▽中央公園は、周辺を含む整備計画を策定し総合レクリエーションゾーンとして整備します。

▽秋田内陸線沿線の観光振興、北緯四〇度シーズナルリゾート構想の推進、大館能代空港

安全で快適な

生活環境のまちづくり

■生活基盤の整備

▽町民の生活を支える生活基盤の整備は、行政の重要施策であり、自然環境など優れた特性の保全と活用をはかりながら、都市的機能の充実につ



安全で快適な生活こそ福祉の根源

をはじめとする高速交通体系

の整備等による対応が求められており、観光コースの設定やポスター、パンフなどを充実させ広域的な誘客をはかります。

とめ自然と人間の調和のとれた快適な居住環境の形成にとめます。

▽公共下水道事業と農業集落排水事業は、町民が志向する快適生活と水質保全の意味からも早期供用開始をめざした

取り組みを推進します。

■交通体系の整備

▽交通は経済、文化などあらゆる活動の基盤であり、本町に大館能代空港が設置されることにより県北地区が飛躍的に発展することが期待されます。そのためには大館能代空港の第六次空港整備五カ年計画への組み入れが大前提であり、早期実現にむけた精力的な運動を展開し「全国一日交通圏」への参入をはかります。

▽アクセス道路や日本海沿岸高速道など、高速交通網の整備をはかります。

▽奥羽本線の全線複線化を促進するとともに新幹線への連絡を改善し、秋田内陸線はスピードアップと誘客による乗客数の増加につとめます。

▽バス路線は積極的な乗車運動を展開し、地域住民に密着した生活路線の確保と効率的な運行を促進します。

■町民生活の安全

▽モーターリゼーションの進展にとめない交通事故が増加しており、地域交通安全組織による交通安全対策と安全施設の整備につとめます。

▽犯罪をなくし健全で住みよ

い町にするため、町民の防犯意識の高揚をはかり、防犯団体の育成強化につとめます。

▽建物の高層化、多目的化さらにはガス、石油類等危険物の使用増大による新たな災害に対応できる消防力の整備と、住民に対する自主防災意識の啓蒙をはかります。

▽大規模な災害に備え、情報伝達システムを強化して災害に強いまちづくりを推進します。

■環境衛生の推進

▽生活様式の多様化、高度化にとめない環境衛生に対する適切な対応が求められており、快適で魅力あるまちづくりのため地域、行政が一体となり施策を推進します。

▽ごみ処理については、減量化、再利用の取り組み強化と、分別収集の徹底をはかります。

▽し尿処理場は、老朽化により新たな処理施設の建設を推進します。

▽葬祭場は、利便性を考慮した近代的な施設の建設を推進します。

健康で生きがりのある 福祉のまちづくり

■社会福祉の充実

▽高齢者や心身障害児（者）が生きがいのある生活を送るため、社会活動への参加を助長し、在宅福祉の充実をはかるとともに、ボランティア活動を推進し心ふれあう福祉のまちづくりにつとめます。

▽心身ともに健全で調和のとれた児童の育成につとめ母子、父子家庭の生活を安定させるため、相談指導体制の充実と自主更生のできる環境づくり

を推進します。

▽福祉を支える保険、年金制度については国等への働きかけを強め、生きがいのある地域社会づくりをめざします。

■青少年の健全育成

▽二十一世紀を担う青少年の育成は家庭、学校、地域がそれぞれ役割を認識し、今後ますます進展する国際化、情報化や学校の週五日制の導入など生活環境の変化にいかに対応するかが重要であり、具

体的な施策を講じながら広い知見を持ち、心豊かで創造性に富む青少年の育成を推進します。

健康増進と地域医療の充実

▽「自分の健康は自分で守る」という自覚を高め、健康を管理する気運を盛り上げながら意識の高揚をはかります。
▽成人病の予防や各種検診による早期発見、早期治療体制づくりを推進し、医療体制と老人保健施設、医療施設の充

実につとめます。

▽母子保健については、乳幼児の健康診査を推進し、健康相談などによる指導の充実をはかります。

地域スポーツの振興

▽既存施設の有効利用をはかりながら野球場の改修、スキー場へのジャンプ台の設置、河川敷総合運動公園、竜ヶ森登山道の充実につとめます。
▽競技スポーツのレベルアップのため、トレーニング施設の充実をはかります。

ゆとりと個性のある教育・文化のまちづくり

学校教育の振興

▽東小学校、鷹巣中学校の改築を促進し、郷土を愛する心を育てる教育環境の創出と、創造性豊かな実践力のある児童・生徒の育成につとめます。
▽教育環境の適正な管理と整備充実をはかります。
▽情報化教育に対応するため、パソコン機器を導入するなど教育機材の充実と活用につとめます。
▽教職員の研修制度の充実を

はかり、地域社会の信頼と期待にこたえる人材の育成、確保につとめます。

▽スポーツ活動とおして基礎体力の強化と厳しさに耐える心を養い、心身ともに健全な児童生徒の育成につとめます。

社会教育の推進

▽より効率的な社会教育を推進するため関係機関、団体で組織したネットワークづくりを促進します。

▽学習で得た知識、技術を実践に生かすような学習形態の改善とリーダーの養成につとめます。

▽各地区公民館を重点に、社会教育の場にふさわしい施設の整備につとめます。

▽たかのす風土館（ファルコン）の建設にともない、公民館の図書室等の移動や機能の分散により、中央公民館全体の有効利用を検討します。

地域文化の育成

▽「たかのす風土館」みちのく子供風土記館」は、時代に即応した情報センター、文化活動推進基地として充実をはかります。

▽住民ニーズに適した芸術、文化を推進するため、関係団体との調和をはかりながら、文化祭などの内容充実につとめます。

▽中央公民館、地区公民館をステーションに地域に根ざした文化活動を展開します。

▽郷土文化、芸術の伝承をはかるとともに、ホークスサミット等の都市交流、著名人との人的交流、さらに国際交流等とおして幅広い文化の吸収につとめます。



乗たる21世紀をしっかりと見すえ、全カダッシュ!

3月定例会 行政報告



平成三年三月定例町議会は、三月四日から十五日まで十日間の会期で開かれました。

議会は、初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われたあと、各常任委員会に付託されました。

六日、七日の両日に一般質問、八日から各常任委員会が開かれ付託議案等を審議、最終日に本会議を開いて閉会しました。

三月定例会の行政報告は次のとおりです。
なお、決定した議案等は四月一日付広報で報告します。

男子型企業二社が進出

【企画調整課関係】…企業誘致については、男子型企業を中心に誘致を進めてまいりましたが、新たに金属機械加工業種の企業と初年度十億円台の投下資本をもって進出する旨合意に達し、新年度早々にも県と同時発表できる段階になりました。さらにUターン希望者の受皿として開拓したコンピュータソフト開発の企業から立地計画書の提出があり、同時発表できる見通しであります。

大館能代空港については、期成同盟会の加盟団体による輪番陳情が二巡目に入り、引き続き陳情を繰り返しております。運輸省関係に航空会社も陳情対策に加え、年賀陳情、女性陳情など視点を変えた陳情方法を取り入れながら、第六次空港整備五カ年計画への組み入れをめざしております。

鷹巣町総合発展計画の後期基本計画（平成三年度～七年度）については、アンケート調査を実施して、その意向を踏まえながら一連の事務作業が



町独自の女性陳情団が村岡運輸相に「空港実現」を直訴した（今年2月1日）

終了しました。

【総務課関係】…OA化推進事業は、第二期導入計画の財務会計システムの基本構想がまとまりました。業務効率を高めるため各種講習会に参加し、知識向上をはかり、プログラム修正や国民健康保険システム、福祉医療システムなどの新規開発に努めております。

【町民課関係】…第七回町社会福祉大会は「みんなが幸せに暮らせるあたたかい町づくりをめざして」をテーマに、関係団体の協力により十二月上旬に開催し、福祉活動の功労者並びに団体に表彰状と感謝状を贈りました。

恒例の消防出初式を一月四日に、また消防団中

堅幹部、新団員の規律訓練並びに技術研修を実施し有事に備えております。町消防団に日本消防協会長から優良消防団として表彰状と表彰旗が贈られました。

交通安全については、昨年において死亡事故ゼロを記念し、関係団体とともに無事故祈願祭並びに協議会を開催しながら、交通安全運動を積極的に推進し、事故の絶無を誓いあいました。

三月下旬に

「粗大ごみ」を収集

【保健課関係】：町民の健康を守り疾病の早期発見、早期治療をめざして実施した各種検診事業の結果は結核検診五、八八五人（内要精検者一六九人）、基本健康診査（四〇歳以上）一、三三四人（同四九四人）、胃ガン検診二、一二六人（同三一人）、子宮ガン検診（三〇歳以上）八五九人（同三八人）、大腸ガン検診一、二七五人（同七一人）となっております。

成人病予防事業の事後指導である生き生き健康教室は「健康に老いる」をテーマに、十二月から二月まで五回にわたって開催し、寝たきりゼロ作戦について研修を実施しました。また、事業所の健康相談として健康事後指導も含め、十事業所を実施しました。

献血事業は本年度目標一、六五〇本に対して、二月末現在一、三一八本（七九・九％）の実績であり、残る三月に目標達成するよう努めます。

ごみ収集対策については可燃ごみ・不燃ごみの分別を徹底するため、来る四月一日から圏域を統一した指定ごみ袋による収集を始めますが、一月から三月まで試行しているところでありま

た、三月十八日から延べ五日間にわたり本年度二回目の粗大ごみの収集を予定しております。

今年度の一等米

比率は九一・七％

【農林課関係】：一月末日現在の米集荷数量は、限度数量一一、〇三四ト（六〇・〇％）一八三、九〇〇俵）に対し一〇、四八八ト（一七四、八〇〇俵）で進捗率九五・五％。また一等米比率は九一・六八％となっております。なお政府米四、一五二ト（六九、二〇〇俵）、自主流通米六、三三六ト（一〇五、六〇〇俵）となっております。

第八回鷹巣町食料供給基地推進大会を二月下旬に開催し、本年度の反省、青果物振興の講演、後



期対策等の方針を検討し、優良農業者並びに団体の表彰も行いました。

第三期山振で進めていた山村工事広場が完成し、今後は農業者の健康増進、農村交流の場として、また大太鼓の館との多角的な活用をはかってまいります。

農業災害復旧事業は、激甚の指定を受け八〇・八％（九六・七％の高率補助となり、農地二十二カ所、施設十七カ所の工事に着手しております。町有林の保育事業は今年度において下刈二八・四二ト、除伐九三・五六ト、間伐七二・七四ト、枝打二九・三八ト、作業道開設三路線（二、六九七ト）を実施。民有林の町単間伐促進事業の実績は五五トを見込んでおります。

三月下旬に

早春太鼓フェスティバル

【商工課関係】：町内企業及び誘致企業進出にもなり労働力需要に対応するため、Ｕターン希望調査を実施し、この結果をふまえて二月中旬に町内業種代表と職安による地域雇用促進と労働力確保対策協議会を開催し、今後の具体的進め方を協議しました。

出稼者の疾病が増えており、二月上旬に出稼相談員会議を開催し、留守家族を通じて安全就労の啓発につとめており、出稼互助会の加入状況は一月末現在で三二六人です。

大太鼓の館入館者は一月末で四五、〇四五人となっており、本年度最後の入館対策として三月下旬に「早春太鼓フェスティバル」を計画しております。

湯の岱温泉利用状況は一月末現在の操業日数が

二八五日で、入浴利用者は三六、八一六人、一日平均一二九人（昨年同期一三一人）となっております。

中小企業振興資金制度（マル鷹融資）利用状況は、二月末で四六件、一億八一、三八八千円、利用残高は一七一件、四億八、三八六千円で預託額に対して四・〇八倍の利用額になっております。【建設課関係】：二月末現在における各種工事の発注件数は八六件で、予算対比九八％の発注率となっております。現在三十件が工事中であります。工期内完成をめざしています。

一斉早朝除雪については、最近にない大雪で除雪車の出動が一ヶ月で十七日間、また排雪は三十日間でダンプカーの出動が延八〇台（三月末現在）となっております。



これまでの暖冬とは違って変わり、今年の除雪隊はフル稼動

公共下水道については都市計画決定および事業認可業務の委託を行い、平成三年度の事業着手に向け整備中であります。

河川公園は、ゲートボール広場に八面のコートが完成しテニス広場のネットフェンス等の完成と合わせ、平成三年度より使用可能になりました。【水道課関係】：上水道事業の経営状況は給水収益で前年度同期（一月末）と比較し、二・六％程度の増加であり経営収支についても順調に推移しております。

簡易水道事業は、緑ヶ丘簡水の取水源改良工事を二月上旬に完了し、給水開始をしております。

たかのす風土館は完成まじか

【教育委員会関係】：学校教育関係では、全県スキー大会が花輪スキー場で開催され、距離男子十*の個人で鷹巣中学校が優勝し、東北大会でも準優勝に輝やき全国大会出場をはたしました。

社会教育関係では、たかのす風土館が予定どおり三月下旬の竣工めざし工事の進ちょくにつとめております。また、愛称は「鷹」"隼"を意味する「ファルコン」に決定しました。

たかのす讃歌の制作は歌詞を募集し、入選三点をもって作曲を依頼し、三月末に完成の予定であります。

町営スキー場の整備では急斜面の危険部分と圧雪車の方向転換場所を整備しました。また、第二八回町民スキー大会は歩くスキーなど新趣向を組み入れて実施しました。

公民館関係では「地域づくりと生涯学習のあり方」をテーマに、十二月上旬に公民館まつりと学

習交流発表会を開催しました。また、冬期公民館講座は十講座を開設し町美術展は三月下旬に開催を予定しております。



6百席が備えられた風土館ホール。工事は最終段階に入った

衛生センター(処理場)は

国の内示待ち

【衛生施設組合関係】：衛生センターの施設更新については、昨年七月の組合議会で決定後ただちにコンサルタントに委託をして整備計画等所定の調査資料を整え、十月に県ヒアリング、十一月には厚生省ヒアリングを受け基本的事項である処理能力は1日当たり一〇〇キリ、処理方式の高負荷処理が認められ、今後は四月以降の国の事業採択、補助内示を待っているところであります。

「食料基地推進大会」

自立農業の方向性を探る

「活力ある地域農業を」テーマに、第八回町食料供給基地推進大会が広域交流センターで行われ、参加した六十人は間もなく始まる農作業に少しでも役立たせたいとする真剣な姿が見られました。

農指導部長は「青果類は量の確保が大前提で、そのためには農協のワクを越えた取り組みが大事。地域性を出すため大太鼓などをイメージしたパツケージの工夫も必要。高齢者でもやれる野菜づくりなど農協の積極的な投資が不可欠」

＊を下ろすことはなく、一等米は九五%以上の達成率。良質米には、地力増強が不可欠で堆肥と鶏ふんを使い、収穫量を左右する追肥には適期を逃さぬよう気を使っております。基盤整備で水利面、圃場の集合化など労働費が三分の一で済み、大変楽になると共に田畑輪換ができる効果を身を持って実感。中核農家や認定農家を中心とした新制度も出来、規模拡大や複合経営の効率化などが大きく進展しているこの頃ですが、今後町農業はどうあるべきか、生産者自ら関係機関に呼びかけ真剣に話し合いの場を重ねる必要があります。

【畑作経営部門】摩当・碓谷喜寛さん(三九歳) 我が家は稲作中心から転作田の有効利用による稲プラス畑作の複合経営に務め、収益上レタス、ブロッコリー等を栽培しています。元年度に耐雪ハウスを導入

し冬の栽培も可能になったことから、トマト(桃太郎)とホウレン草をハウス利用の通年型に、露地ではレタス、カリフラワー等をやっています。二年度のトマト栽培は初めてで、不安だらけでしたがまずまずでこの経験を来年度につなげたい。その跡作にはホウレン草を植え、そろそろ出荷の予定です。 今後は、市場性や収益性を考えた作目の栽培と通年栽培によって、稲作プラス畑作で農業所得向上に努力したい。

【特用林産部門】明利又・山田秀男さん(四七歳) 冬期の就労の場がなく、子供も小さいことから出稼もできない。こんな動機で七年前に冬のシイタケ栽培に着手。まったく知識がないため、仲間と先進地の比内町や北海道へも行きました。その結果、年間三、四〇〇＊を出荷できるまでになりました。

私の経験から得たポイントを二つ紹介します。まず第一点は、優良品種の選定で種菌は冬期間のものを主に導入、近年はオガクズ駒を使用。ホダ木は里山のものが困難になり、奥山の樹皮が硬く荒いものを使わざるを得なく、オガ



【稲作部門】中畑・山資治郎さん(六二歳) 水田五・九割を今日まで頑張ってきましたが、転作増と米価引き下げそれに長男の会社勤めで、我が家の将来を決断する時期に来ております。 作付けは、こまち五〇%、残りはササで反収は五年平均で五八〇

【生産組織部門】脇神集団栽培組合 当組合は昭和四十八年に集落農場化の指定を受け、時すでに減反や若者の流出など農業離れが顕著になり、家族農業から地域農業への転換期でもあった。 メリットは集落全体の営農計画の立案と調整が可能になり、土地改良や大型機械導入と低コスト経営に寄与できた。このことは、構成員となっていている中核農家の経営に大きく貢献し、小規模農家には農業からの解放や機械化貧乏の解消につながった。

しかし農産物の輸入自由化や米価の変動相場制への移行と重大な節目を迎え、一層の低コスト化と複合経営が課題であり、集落一丸となり「豊かな地域農業」を目ざしたい。

【生産組織部門】脇神集団栽培組合 当組合は昭和四十八年に集落農場化の指定を受け、時すでに減反や若者の流出など農業離れが顕著になり、家族農業から地域農業への転換期でもあった。 メリットは集落全体の営農計画の立案と調整が可能になり、土地改良や大型機械導入と低コスト経営に寄与できた。このことは、構成員となっていている中核農家の経営に大きく貢献し、小規模農家には農業からの解放や機械化貧乏の解消につながった。

読書感想文・体験文コンクール

十人が特選に選ばれました

教育委員会と町読書会が主催する第二十六回読書感想文、第十回読書体験文コンクールの表彰式が、三月二日に中央公民館で行われました。

応募は小学生から一般まで二五五編にのぼり、関心の高さをうかがわせ、入賞者(特選十、入選四四、佳作四九)は次のとおりです。

■読書感想文コンクール

【一年生】▼特選 高橋まさふみ(綴子)▽入選 桜井なお子(西) 田村知大(鷹巣) 佐藤ちえみ(東) 小塚ともみ(中央)○佳作 佐藤かな子(鷹巣) 金沢じょうじ(東) 中嶋はるか(中央) 宮腰えみ子(南) 佐藤かおり(同) 【二年生】▼特選 河田はなえ(鷹巣)▽入選 永井ゆう子(西) 畠山直子(綴子) 三沢崇史(同) 河田絢佳(鷹巣) 三沢ひろき(中央)○佳作 七尾静佳(綴子) 沢田まどか(鷹巣) 福原千賀子(東) 近藤かな子(南) 佐藤えり子

(竜森) 【三年生】▼特選 成田裕一郎(鷹巣)▽入選 長崎剛征(西) 畠山浩司(綴子) 三沢広祐(鷹巣) 猿田佳史(同) 小塚裕紀子(中央)○佳作 津谷論(西) 桜庭慎吾(同) 畠山マリ愛(綴子) 宮野純子(鷹巣) 三日田吉栄(同) 【四年生】▼特選 山田朋美(鷹巣)▽入選 藤島淳(東) 千葉和良(南) 明石麗子(竜森)○佳作 奈良田大輔(綴子) 高橋和昭(鷹巣) 小林まさみ(同) 柳谷愛(東) 【五年生】▼特選 畠山桂子(綴子)▽入選 本城谷かおり(綴子) 畠山真由子(同) 多賀谷瞳(鷹巣) 高橋晋平(東) 近藤咲子(南)○佳作 小前清史(西) 金沢千尋(綴子) 斉藤明子(同) 出川大輔(鷹巣) 川村康(同) 佐藤彰子(同) 松尾珠希(東) 畠山恵美子(竜森) 【六年生】▼特選 齊藤桃子(鷹巣)▽入選 寺田知子(西) 佐藤仁美(綴子) 高橋彩子(同) 猿田純子(鷹巣) 長岐修(南)

○佳作 長崎真(西) 武田超(鷹巣) 三沢朋子(同) 中島聖子(同) 村上賢一(中央) 橋本いくみ(竜森) 【中学一年生】▼特選 茂内梓由子(鷹巣)▽入選 渡部瞳(鷹巣) 小坂亘(同) 畠山由佳(同) 成田こずえ(同) 三沢明子(同) 玉造智子(南) 佐藤紀子(同)○佳作 畠山英知(鷹巣) 岸野美幸(同) 柴田陽太郎(同) 小笠原史子(同) 佐藤友香(同) 津谷宜和(同) 堀内陽介(同) 九島友康(同) 亀山智子(同) 畠山万里子(南) 中嶋香織(同) 菊地やよい(同) 【中学二年生】▼特選 藤島真澄(南)▽入選 松尾志保(鷹巣) 中嶋隆輝(南) 花田奈津子(同) 細田結一(同)○佳作 戸沢真澄(鷹巣) 佐藤智子(南) 【中学三年生】○佳作 清水和香子(鷹巣) 【一般】▽入選 小前節子(前山) 熊谷節子(同)

■読書体験文コンクール

▼特選 新田陽子(綴小六年) 田村セツ子(岩坂)▽入選 奈良田あゆ子(綴小一年) 中沢淳(南小三年) 岩谷真貴子(綴小六年) 藤嶋智一(東小六年)○佳作 田村直樹(東小五年)



町長日誌

出川 禮

2月16日～28日

■17日(日) 鷹巣町連合婦人会ブロック研修会が、沢口林業センターで行われ出席した。この日、大館北秋陸上競技会の総会と、消防関係の協議会もあり、何れにも出席した。

■19日(火) 北秋田地方部主催による「ふるさと創生シンポジウム」が開催され、パネラーとして出席した。主として、空港問題に重点がおかれ、北秋田郡内

から約二百五十人が出席して、大館能代空港を核とした、新たな定住圏の形成をめざし意見が出された。また、あけぼの町内会語る会に出席した。

■20日(水) 鷹巣阿仁広域市町村圏組合議会定例会を開催し、平成三年度の予算外を審議決定した。

■21日(木) 県町村会定期総会を開催。また、県町村土地開発公社設立団体長会議及び、全国町村下水道推進協議会秋田県支部総会に出席した。

■22日(金) 鷹巣阿仁地域農業者研究交流集会。「日頃の研究や体験を発表したい、身近な分野から実行してもらいたい」とあいさつした。午後からは、鷹巣地区安全運転管理者協会の総会に出席した。

■23日(土) 商工会法施行三十周年記念式典が、商工会員等多数出席の上盛大に

開催された。功労のあった役員及び永年勤続従業員

の表彰が行われた。

■24日(日) 秋田県軍恩連盟鷹巣支部総会に出席した。

■25日(月) 森吉町外四カ町村病院組合議会定例会に出席した。

■26日(火) 鷹巣町食料供給基地推進大会に出席し、優良農業者の方達の表彰を行った。

■27日(水) 大野台地区調査総合検討会に出席した。

国民健康保険者証の

更新は忘れずに

四月から新しくなります

国民健康保険(国保)に加入しているみなさんの保険者証の有効期限が、三月三十一日切れます。

このため、次の日程で更新を行います。有効期限の切れた保険者証で、医療を受けることができませんので必ず更新手続きをとってください。

また、遠隔地にいる学生や

出稼に行っている人が使用している②、③の保険者証も、三月三十一日で切れますのでお早目に連絡をとり④、⑤の更新もとってください。

更新に必要なもの

- 現在使用している国保の保険者証
- ②、③の保険者証

取り扱いは大切に

- 一、内容に誤りがないか確かめる
- 二、紛失したときは再交付をうける
- 三、必ず手元に保管する
- 四、資格が無くなったり返す
- 五、有効期限の過ぎた保険証

国保は

いつか来たのか

戦前、まだ国保が無かった頃一家に重病人が出ると医療費の負担が大変でした。お医者さんにかかるために何もかも売り払い、ついには貧乏のどん底に落ちこむ、というような家庭が少なくありませんでした。

このような背景の中で、お互いに助け合って、こういう悲惨な状況をすこしでも防ごう、という目的から生れたのが国保の制度です。

国民健康保険法が制定されたのは昭和十三年ですが、その内容が飛躍的に充実したのは戦後、昭和三十六年に国民皆保険制度が確立されてからです。

とりわけ、昭和五十年に高額療養費の制度が導入されてその後、長い間会社や役所に勤め、厚生年金や共済年金の支給を受けている七十歳未満の人とその家族のための退職者医療制度ができました。

また、人生八十年の長寿の時代、高齢化社会に対応するために七十歳以上の老人を対象とした老人保険制度ができ、国保の給付はより一層充実しました。

今日では、私たちの生活は国保無くしては成り立ち得ない状況にあります。

わたしの健康

わたしの国保

国保運営する費用は皆様方に納めていただく保険税と国の負担金です。

保険税を納めていただかないと国保財政は崩壊します。期日通りに納めましょう。

『保険者証』交付日程表

月日	会場	時間	
		午前9時～11時30分	午後1時～4時
3/25 (月)	七市基幹集センター	七日市、根木屋敷、横瀨、中畑、大畑、下舟木、深沢、品類、岩脇、妹尾館、吉ヶ沢、吉野	
	三ノ渡会館		葛黒、三ノ渡、与助岱、明利又、松沢、上舟木、黒森
	綴子基幹集センター	下町、大堤、前野団地、小田、田子ヶ沢、松原、上町	
	北健康増進センター		岩谷、二本杉、大畑、糠沢、昭和、向黒沢
3/26 (火)	坊沢公民館	深閑、相善町、羽立、街道町、新屋敷町、大町、上町	
	栄生活改善センター	摩当、李岱、田沢、岩坂、下大沢	
3/27 (水)	今泉生活改善センター	今泉、蟹沢	
	前山会館		前山、黒沢
	沢林業センター	湯ノ岱、坊山、四渡、中屋敷、脇神、藤株、小摩当、小森、上野	
	南鷹巣会館		南鷹巣、舟場、堂ヶ岱、高村岱、西陣場岱、高森岱
3/28 (木)	中央公民館	元町、大町、米代町、松葉町、材木町、花園町、東横町、宮前町、旭町、住吉町、伊勢町	住居表示区域外の旧町、小ヶ田、川口、湯車、高野尻団地、田中、新田中、南田中、高野尻、緑ヶ丘、太田、掛泥、あけほの町
3/29 (金)	役場国保係	上記日程に更新のできなかった方々	

○印鑑

保険証は資格証明書

保険証(正しくは国民健康保険被保険者証)は国保の被保険者であるという証明書であると同時に、お医者さんにかかるときの受診券の役割を果たすものです。

は使えない

六、家族に異動のあったときは国保の係で訂正してもらおう

学生も国民年金に義務加入

4月から



現在、20歳以上の大学生や専門学校等の学生は、国民年金への加入は任意となっていますが、下記のような問題点を解消するために、4月からは学生も全員加入が義務付けられました。

加入手続きは住民票のある市町村で行うこととなりますので忘れずに手続きしましょう。また、保険料の納付が困難な場合は、申請による保険料免除制度もありますので、役場年金係（62）1111内線 124、125）で相談してください。



詳しくは
JR 鷹巣駅
秋田内陸線鷹巣駅
六三〇六四三
六二一一一五八
列車の時刻が三月十六日より変わります

理由 1

今までは、任意加入していない学生は、交通事故や病気で障害者となっても障害基礎年金が受けられませんでした。全員加入することにより、障害者になっても年金が受けられるようになります。

理由 2

今までは卒業後に加入しても将来満額の老齢基礎年金が受けられませんでした。20歳から加入することによって満額の年金が受けられるようになります。

■ 対象者への連絡は

3月下旬に学生の親元に往復ハガキにより在学学校名と学年及び卒業予定年月日等を照会いたします。

それにより加入すべき学生の皆さんには、後日手続きについて連絡します。

■ ハガキが送付されない時は

往復ハガキが送付されない場合でも、加入適用の主旨を理解され自主的にご連絡下さい。

統一地方選挙

不在者投票の手続きは早めに！

不在者投票のできる期間は、選挙が告示された日から投票日の前日までです。

▽ 知事選挙 3月18日～4月6日

▽ 県議会議員選挙 3月29日～4月6日

▽ 町長選挙 4月16日～4月20日

お問い合わせは選挙管理委員会まで（六二一一一）
（内線二九一） 六二一一四五九（直通）

指定ゴミ袋4月1日より完全実施！ （指定袋以外使用禁止）

（守られないと、収集しない場合があります）

- ◆ 燃やせるゴミ、燃やせないゴミの分別を守りましょう
- ◆ 肥料用ビニール袋、ダンボール箱をゴミ袋として使用するのは禁止
※ 肥料用ビニール袋は粗大ゴミ収集時（年2回）に出してください
※ ダンボール箱は折りたたみ、燃やせるゴミに出してください
- ◆ 商店、事業所等営業ゴミは絶対出さないでください
- ◆ 通勤途中で他のゴミ集積所へ出すことは絶対止めてください

【指定ゴミ袋販売価格】（各商店にあります）

- ◎ 燃やせるゴミ用（30枚入） 400円
- ◎ 燃やせないゴミ用（15枚入） 200円

おしらせ

供託制度をご存じですか

供託には、弁済供託・執行供託・保証供託・没収供託等があります。

弁済供託は、金銭その他の財産の給付を目的とする債務を負担している債務者が、その債務を履行しようとしても、債権者がその受領を拒むとか、債権者の住所不明その他債権者側の事由でその受領ができない場合等に、債務の目的物を供託所（法務局）に供託して、その債務を免れさせるためのものです。

例えば、地代家賃を受け取つ

虫歯のない子



田中・藤島まさひでちゃん



舟場・北嶋あやこちゃん

てもらえないときは、供託という方法を利用することができます。

詳しくお知りになりたい方は、次のところへご相談ください。

大館市字三の丸一三番地一
九・秋田地方法務局大館支局
(☎〇一八六―四二―六五一五)へ。

労働時間(改正)について説明会

大館労働基準監督署では、労働時間制度の改正に当たり、改正内容の説明会を開催します。

- ▽日時〓三月十五日・午後一時三十分～三時三十分
- ▽場所〓鷹巣阿仁広域交流センター
- ▽内容〓(1)労働時間法制の概要 (2)労働時間短縮の方法と

実務 (3)労働時間短縮好事例
事業場事例発表ほか

マイホーム資金・進学資金は財形融資で

雇用促進事業団が行う財形融資は、サラリーマンのマイホーム取得を援助する「財形持家転貸融資」と、教育資金を援助する「財形進学融資」があります。

融資額などは次のとおりです。ご利用ください。

◆財形持家転貸融資

▽財形貯蓄期間が一年以上で、貯蓄残高が五十万円以上であれば、どなたでも融資が受けられます。

▽融資額は貯蓄残高に応じ最高三千万円

▽利率は年七・一七％(変動金利制)

◆財形進学融資

▽財形貯蓄をしていれば、どなたでも融資が受けられます。

▽融資額は貯蓄残高に応じ最高三百万円

▽利率は年八・五八％(固定金利制)

お問合せは秋田市中通四丁目十二―四「秋田雇用促進センター」(☎〇一八八―三六一三―一八二)

飲用水として井戸等を利用している方へ

秋田県では、水道以外に飲用水として井戸等(井戸水、沢水、湧水)を利用している方を対象に水質検査を行っております。

■水質検査(最低年一回は行ってください)

▷項目…理化学項目、細菌項目、トリクロロエチレン等

▷検査料金…12,154円

▷検査機関…秋田県分析化学センター

(☎0188-62-4930)

くわしいことについては鷹巣保健所(☎62-1165)か役場衛生係(☎62-1111内線135)におたずねください。

夜間当番医(夜間診療) 日程表 (午後6時30分～9時)

3月	曜日	医療機関名	電話番号
16	土	北秋中央病院	62-1455
17	日	奈良医院	62-1146
18	月	佐藤外科消化器科医院	62-1420
19	火	藤原医院	62-2882
20	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
21	木	盛岡医院	62-1101
22	金	としま医院	62-1267
23	土	戸嶋産婦人科医院	62-1123
24	日	近藤医院	62-1155
25	月	奈良医院	62-1146
26	火	藤原医院	62-2882
27	水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
28	木	佐々木産婦人科医院	63-0105
29	金	盛岡医院	62-1101
30	土	北秋中央病院	62-1455
31	日	としま医院	62-1267

(急患以外は受けません)

住みよい 地域づくりに熱気

県北コミュニティ研究集会



地域の

エネルギーを結集

住みよい地域づくりをテーマに二月二十二日、中央公民館で研究集会が行われ、日頃第一線で活躍している三人のパネラーが実践を発表しました。

田代町の壮年集団世話人会は年一回の行事として産業シンポジウム、模擬議会、生活合理化運動を継続的に実行。特に越山地区の十日会は、地元の家を注目しこれをメインに東屋を建て、三回目の「糸滝まつり」を開催しました。

活性化は 自らの手で

鷹巣地区町内会長連絡会は公民館の協力により昨年、旧町二十八町内会による連絡会が発足し、横の連携が深まり住民サイドの自治組織が誕生シルバー健康社交ダンス、生活環境の改善、行政との懇談会、町内会報の発行など地域活動に積極的に取りくんできます。

観光協会を主軸にして住民サイドの運動で、大太鼓の館や町内会報の発行など地域活動に貢献しています。

午後の講演は、県立農業短大の青木先生が「現代社会におけるコミュニティ活動」と題し、「今後は地方主義の時代になる。生き残りの戦略を立てないと地方は亡びる。農業を基幹産業として、異業種との連携の中から生活の場の確保のために、地域おこしに新風を入れて活性化を図ることこそ、今後の課題である」との内容でした。

予想以上の参加者で、地域づくりは自らの手での意欲が盛り上がり、今後に大きな期待が持たれました。

ふるさと 人物伝

藤原愛

一九二一—一九九〇

自らを「ガキ大将」と称し多くの子供たちの前でありさつしていた藤原愛会長の大きな姿を思い出す。

鷹巣町に初めて子供会ができたのは昭和三十一年である。彼女は有志と謀らい育成会を結成、着々準備を進めていた。やがて鷹巣町全域に八十二団体、約二千人の組織ができた。子供すもう大会、凧あげ大会、リーダー養成キャンプ、世話人研修会等々が毎年開催され、地域の青少年健全育成に大きく貢献する。行事の日は

朝早くから電話で人々の参加状況を把握し万全を期する会長であった。

明治四十四年、田代町早口、猪野与吉の長女に生れ昭和七年、東京実践女学校高等師範部を卒業と同時に鷹巣実科女学校に勤務、昭和十年、天王町井川出身の医師藤原三郎と結婚、昭和二十一年千葉大学研究室から鷹巣に来て開業する。

昭和三十一年町議会議員に当選、五期つとめる。ゴミの問題を熱心にとりあげ「ゴミ議員」と揶揄されるほどであった。昭和四十一年夫死去、郡母子寡婦福祉協議会長として会の運営をリードし、また、児童民生委員十五年間、秋田県教育委員二期八年間つとめ、昭和六十年、地方自治功労と青少年健全育成の功労により勲五等瑞宝章を受章。平成二年十月十六日没（七八）

仕事熱心で、与えられた使命に愛と情熱を燃やしつつけた人であった。

（資料・長男藤原高司、中嶋喜代、麻木安和談より）
文 長崎 久





声のボランティアを

鷹巣ロータリーが表彰

鷹巣ロータリークラブ（泉雄次郎会長）が、毎年ボランティア活動をしている個人・団体を表彰する『明るい社会賞』を、二月二十八日の月例会で「鷹巣町朗読ボランティア」と「あかねグループ」に贈りました。

朗読ボランティアは、昭和五十五年から町広報や議会報を、あかねグループは六十二年より地元新聞三紙を月二回に編集し、目の不自由な方や寝たきりの方々が聞けるように、テープに吹き込み喜ばれてきました。

主婦や青年などが中心になり、自前で活動を続けていますが、「人のためばかりでなく、自分のためにもなります」と感想を述べてくれました。

北秋美容組合鷹巣地区の美容師たちが、三月五日に特別養護老人ホーム「青山荘」で、入所している五十二人のおばあちゃんたちの散髪サービスを行い感謝されました。

美容組合に加入している人たちが四班に班編成し、ローテーションしながら毎年定期的に訪問しているもので、この日、自慢の腕をふるった美容師さんは十一人。一人、二十分ほどかけて伸びた髪を、きれいサッパリに整えていました。

昨年の十二月以来三カ月ぶりの散髪に、おばあちゃんたちは笑顔を見せながら「あずましくて、エエあんばい」と満足顔でした。

「自慢の腕」で 散髪サービス



大館能代空港シリーズ ④

運輸省

○平成元年十一月、運輸省に中間とりまとめをし、同秋に最終答申。

○平成二年八月、第六次空港整備五カ年計画の予算概

要を発表する。総投資額三

兆二千二百億円（第五次の

六七％増）、その内三大ブ

ロジェクトに三分の二を配

分、一般空港は五千三百億

円とする。更に地方空港の

新設に当っては、航空企業

の路線就航、維持の見通し

と地域の支援方策を検討す

る必要があることを明記し

た。

※地方空港を含む具体的

な事業内容は平成三年十月

頃に閣議決定される。

■ 航空会社

○平成元年十月、航空三社

（日航、全日空、日本エア

システム）が共同で「新規

地方空港は、建設の基準を

明確にし、地方自治体が財

源手当をすべき」との要望

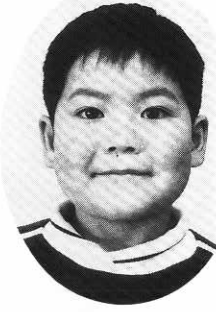
書を運輸省に提出し、企業

側の態度を明らかにした。

成田空港二期工事



の広場



七日市保育園
ぬのたともひさちゃん(6歳)



私の目標としていた公務員試験が、全て不合格という結果に終わりました。
しかし、そうなったことに感謝すべきように私の人生は、より素晴らしいものへと変わったのです。多くの先生方や友、そして母に支えられ、励ま



鷹巣高校(旭町)
蛇川千幸さん

めざせ・愛・教師

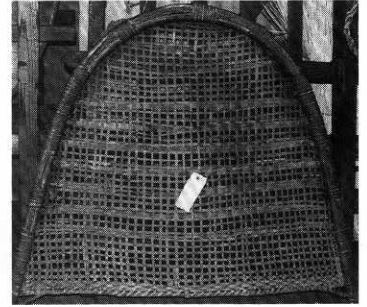
今月のテーマ「私の進路」

子ども達と共に学び合い、成長しあえる教師、子供達一人一人と接し、語り合い、私の後ろ姿、態度で自然と教えることのできる教師になりたいと思います。「人間愛」というものを柱として…
理想は高く尽きることはありません。しかし、現状はか

れて……。四月から埼玉県にある文教大学教育学部に進み、小学校の教師を目指して頑張ります。勉強はもちろん、人間的にも大いに成長するよう様々な体験をしていきたいと思っています。
子供達と共に学び合い、成長しあえる教師、子供達一人一人と接し、語り合い、私の後ろ姿、態度で自然と教えることのできる教師になりたいと思います。「人間愛」というものを柱として…
理想は高く尽きることはありません。しかし、現状はか

対談

わたしたちの意見



箕とし用の

両手でゴミを飛ばして

箕の中で目があらくて、穀とし用などに使った。箕は穀類をあおって殻、塵などを分け除く農具で、竹、藤、桜などの皮を編んで造った。栄の大沢部落は昔、灰と箕を売ったことから、灰箕(あみ)といった。

(松葉町・佐藤 富雄さん)

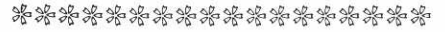


わたしの自慢は 献血で銀色有功賞を受賞

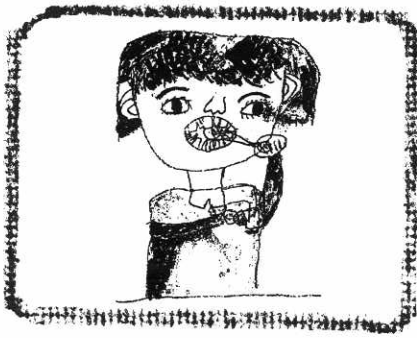
栄中綱・鎌田博美さん(43歳)

昨年四月、鷹巣町へ転勤早々に、役場前で三十回目
の献血をしました。
その結果、新年早々日本赤十字社より献血三十回以上という事で、銀色有功賞、表彰楯並びに表札をいただきました。
このような立派な賞をいただき身に余る光栄であるとともに感激で一杯です。
昭和四十二年初めて秋田市で献血以来、東京、盛岡、花巻、秋田そして鷹巣町を含め十一の市や町で献血をしてきました。
今後は、自分の年齢まで献血回数を増やすことと、旅行先など、全国どこの市町村においても、自由、気軽に献血できればと願っております。
健康である限り、いつまでも赤十字精神を糧とし、献血運動に協力していきたいと思っております。

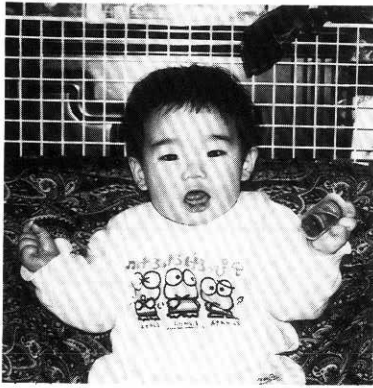
みんな



七日市保育園
きたむら かずえちゃん(6歳)



わが家のアイドル



成田 ^{りん}心ちゃん(平成2年6月12日生)
幸裕・祥子さんの長男 七日市本郷
待ちに待った孫なので、目に入れても痛く
ないほど。とっても元気で名前のように大き
な心を持った人になってほしい(おしいちゃん)

理容師をめざして



鷹巣高校(花園町)
相馬綾香さん

なり厳しいはずですが。これに妥協しないように、そして教師である前に人間として大きくあるように、日々努力していきたくと思います。

私は高校卒業後理容師になるため秋田市に就職します。私の行くところは秋田市内という所で、今年私は私を含めて三人が見習いとして勤め、住

み込みで五年間勉強します。「長岐理容院」では二人の先生と三人の先輩にご指導をいただき、国学館での通信教育も受けます。通信教育は十月から始めましたが、私にはまだまだわからないことばかりです。これから一生懸命に頑張っていきたいと思えます。五年という月日は、今の私にとっては長くて長くて不安だらけで、何度も弱音をはいてしまいかもしれませんが、精神的にも身体的にも鍛え、今までの高校生活での経験を生かし、これからの目標を忘れずに、私なりに一生懸命にがんばって行きたいと思えます。

昭和38年3月、鷹巣駅のホームで集団就職列車を待つ中学を卒業したばかりの少年、少女たちである。当時の進学率は60%台で、多くの仲間が期待と不安を胸に旅立った。列車の窓から手を振り涙を流した子供たちも、現在は社会の中堅として頑張っている。



たかのすの移り変わり

おしらせ



一線美術会運営委員 九島京二さん

三月の健康相談

三月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十七日です。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、ビデオによる健康教育「老人ボケを防ぐ」について行います。

◇ リハビリ学級は二十日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

◇ ※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

◇ 四力月児健康診査、七力月

児健康相談と離乳食指導は二十日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四力月児健診〓十一月生まれ、受付時間は午後一時から一時三十分までです。

▽七力月児健康相談と離乳食指導〓八月生まれ、受付時間は午前九時三十分から十時まではです。

母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。場所は中央公民館ホールです。

◇ 育児相談は十五日です。

子育てについての悩み、子供の健康発達など不安を持つ母親を対象に行います。

◇ 受付時間は午前九時三十分から十時までです。

場所は中央公民館保健相談室です。

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程〓三月十八日

▽受付時間〓午後一時から一時三十分(終了時間三時)

▽妊婦教室内容〓妊娠中の栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防

▽持参品〓印鑑、歯ブラシ

▽場所〓中央公民館保健相談室

献血にご協力 してください

献血車が次の日程で巡回します。献血は気軽にできるボランティア。血液を待つ多くの患者さんのために、ご協力をお願いします。

献血された方には、血液のなかのコレステロール量など、七項目について生化学検査を

無料で行なっていますので、自分の健康チェックにもなります。

◇ 三月十八日(月)

▽陽清学園(午前十時三十分～十一時三十分)

▽(株)ジャパンプリサイス(午前十一時四十分～零時四十分)

▽北秋田総合庁舎(午後一時四十分～三時)

▽役場(午後三時十分～四時三十分)

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

◇ 芳志に感謝いたします。

▽舟場〓鈴木洋子さんから亡

母ミチエさんの香典返し

▽摩当〓岩谷サメさんから亡

父専助さんの香典返し

▽住吉町〓成田健一さんから

亡父四郎さんの香典返し

▽東横町〓大川与吉郎さんから

亡母スエさんの香典返し

▽住吉町〓菅原憲一さんから

亡母マサさんの香典返し

▽相善町〓大川繁行さんから

亡父長一郎さんの香典返し
▽住吉町〓高井英敏さんから
亡父貞助さんの香典返し

慶弔だより

2月16日～28日

■誕生おめでとうございます

工藤 駿(とら) 二男 小田

下山 潔人(きよひと) 一男 四男 材木町

戸嶋 要(かなむ) 健一 二男 深閑

太田 美咲(みさき) 豊秋 長女 高野尻

藤嶋 彩野(あやの) 悟 長女 舟見町

高橋 巨(こほろ) 之弘 長男 新田中

佐藤 瑞希(みずき) 久美 三女 糠沢

佐藤 大志(だいち) 鉄也 長男 内幸町

■二人の前途を祝福いたします

村上 祐悦 深閑

木村 之子 大館市

嶋崎 幸男 あけぼの町

渡邊 千刈 大館市

おくやみ申しあげます

伊賀長一郎(82歳) 小ケ田

岩川 勝也(73歳) 米代町

山内 ミネ(95歳) 糠沢

長 サヨ(80歳) 材木町

長崎 スノ(81歳) 緑ヶ丘

佐藤留五郎(83歳) 綴子町

藤嶋 セツ(84歳) 太田

明石 七郎(75歳) 高村岱